

緊急提言

社会崩壊を招く「交通崩壊」を防ごう！

～公共交通や福祉移動サービスが存亡の危機。「移動の抑制」と「必要な移動の提供」の狭間で苦悩。「いのち」を守るくらしの足維持へ、国や自治体、移動の担い手と連携し、コロナ禍に立ち向かう！～

提言の経緯

本提言書は、「くらしの足をなくさない！緊急オンラインフォーラム ～新型コロナウイルスによる交通崩壊を止めろ～」の議論を踏まえたものです。

公共交通は我々のくらしを支える社会インフラでありながら、日本では原則として独立採算で運営されています。その限界が、今回のコロナ禍によって表面化しています。

アフターコロナがくらしやすい社会であるために、いま真ただ中の危機に我々は向き合います。

提言内容

いま連携して進めること

1.現場の安全確保

- 安全安心な交通の運行・利用ガイドラインの提示
- マスク・消毒薬等の必要な資材の手配

2.必要な運行の合意形成

- 交通サービスを維持、縮小する基準の提示
- 地域での柔軟な運行を認める制度運用と見直し

3.事業継続のための経済的支援

- 崩壊を防ぐ喫緊の資金手当て
- 補助金制度の特例的運用

今後の行動

- 関係者との協力関係の構築
- ガイドラインや基準の素案作成
- 特設サイトにおける発信とコミュニケーション
- 5/29に再度オンラインフォーラムを実施
- 「Withコロナにおける交通」のあり方を検討

作成者

「くらしの足をなくさない！緊急オンラインフォーラム」参加者一同（参加者登録1002人）
主催者代表：東洋大学教授 岡村敏之（くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会 委員長）
共催者代表：名古屋大学教授 加藤博和（公共交通マーケティング研究会 幹事代表）